

# 第18回コブレンツ国際

18th Koblenz International  
Guitar Festival & Academy

# ギター・フェスティバル

著名なギタリスト陣と画期的なイベント、ハイレベルなコンクールで毎年多くの参加者を擁するコブレンツ・フェスティバル。例年以上に豪華なメンバーが集められたギタリスト陣は、今年はどうな「祭り」をみせてくれたのだろうか。

文・写真：テレーズ・ワシリー・サバ  
翻訳：関塚亮司



ラッセル夫妻



マイク・ラインハルト



フロリアン・ラルース



パヴェル・シュタイドル



ロレンツォ・ミケーリ

## ■ 毎年恒例チャリティー・ゴルフ大会

毎年、コブレンツ国際ギター・フェスティバル開催日の前日の日曜日には、ヤコスバーグ・ゴルフコースで、デイヴィッド・ラッセル夫妻が主催する NGO の資金集めを目的としたチャリティー・ゴルフ大会が開かれる。今年ラッセル夫妻は、昨年このゴルフ大会で集められた資金を使ってケニアのトゥルカナに飲料水用の井戸を建設することができたことを報告し、公式に感謝の意を表明した。

夕刻、ゴルフ場で開かれたパーティーには、マイク・ラインハルト・トリオのメンバーであるマイク・モロ・サッチャのほか、ジャンゴ・ラインハルトの家族とその関係者が出席したが、すごい速さの粋なジプシー・スウィングの演奏で我々を驚かせた。この週の後半には、ジョシヨ・ステファン四重奏団 Joscho Stephan Quartett がジャズのライブハウスであるカフェ・ハーンで、ゲスト

出演のギタリスト：マイク・ラインハルトと一緒に演奏した。

## ■ 怒涛のコンサート・ラッシュとマスタークラス

昨年コブレンツ国際ギターコンクール“フーバート・ケッペル”で優勝したフランス人ギタリスト：フロリアン・ラルースは、彼のリサイタルの幕開けとしてジョン・ダウランドの2つのファンタジーを演奏したが、低音を増弦したギターを使った。高音弦は非常にクリアで、低音弦に圧倒されず、音質も良く、彼の解釈も素晴らしかった。驚いたのはレゴンディを始める直前になって、突然、増弦した低音弦を外し、普通の6弦ギターに戻したことだ。

今年のフェスティバルも数多くの優れた演奏があった。

パヴェル・シュタイドルは1926年製のシンプリシオ・

